

令和7年度 地域連携推進会議 議事録			
事業所名	恵和やわらぎ		
開催日時	令和7年10月23日		
開催場所	恵和第十一やわらぎ		
出席者	構成員	人数	備考欄
	事業所職員	2	管理者・サービス管理責任者
	入居者	1	第十一やわらぎ在住
	入居者御家族	1	
	地域の関係者	2	近隣の方：1名 家族会：1名
	福祉に知見を有する方	0	
	経営に知見を有する方	0	
	市町村担当職員	0	
議題	① 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的について		
	② 出席者紹介		
	③ グループホーム・法人の取り組みの説明		
	④ 意見交換・質疑応答		
	⑤ その他		
①	<p>本会議の目的は、恵和やわらぎを中心とした関係者が集まり、利用者の地域生活をより安全で豊かなものとするために、現状の情報共有、課題の把握、支援体制の確認および協力体制の強化を図ることを目的としている。</p> <p>また、地域との円滑な関係づくりや、緊急時・災害発生時などの協力体制について検討し、地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを進めることを目指している。</p> <p>上記を参加者へお伝えし、個人情報の取り扱いなど注意いただく点の説明、同意書に署名を頂く。</p>		
②	<p>司 会 ：戸村（管理者）</p> <p>書 記 ：山口（サービス管理責任者）</p> <p>入 居 者 ：A様</p> <p>入居者御家族：B様（A様のお母様）</p> <p>近隣の方 ：C様</p> <p>家 族 会 ：D様</p> <p>合計：6名</p>		

③

◆ホーム内見学と入居者A様の居室案内を実施

・防災（火災）に関し専門的な説明は省いたが、消防からこのホームの建材であれば燃え広がることはない。カーテンも防災となっているので、煙が出るとすれば衣類や書類関係。スプリンクラーの設置も義務となっている事もお伝えする。

◆法人（GH）の説明として以下の内容を報告

・恵和やわらぎでは男性8ホーム、女性5ホームで計13ホームで利用者数65名で運営している事。

・本会議を実施しているホームが一番新しいホームで、令和2年度に開設したホームである事。

・やわらぎは障害の程度として重度の方が多く在籍し、軽度の方が多く在籍している恵和めぐみ（グループホーム）も法人内にはある事。

・第十一やわらぎ（会議実施場所）で生活されている各利用者の特性を説明。

その中でどのような流れで生活をしているか、個々の対応をどうしているかを説明。

・GHの収入についての説明（〇〇という支援をし、国や自治体から収入を得ている等）

・入居にあたって、やわらぎが重要視する所などを説明。

④

C様：（入居選考の話を基に）グループホームの入居基準は？

戸村：一番重要なのは今生活されている方と合うかどうか、という所です。事業所によって特色も異なり、また各分野に特化したホームもあります。当法人外でも例えば行動障害に特化したホームなどもあります。株式の参入もあり、選択肢としては比較的多くあると思います。

例えば体験をして、合わなかったからといって法人内全てのホームがダメな訳ではありません。合わなかった理由は一つの情報として扱えます。それを基にこちらのホームはどうだろう、と法人側から提案もできます。実際に2回体験をし、ホームに馴染めず断った方も、ここならいけるのではとこちらから声をかけ体験をし、入居に至った方もいます。

B様：日用品や生活用品は家族が持参するなどありますか？

戸村：基本的には一般的な物であれば、ホームで対応できます。この品じゃなければダメというご希望があれば担当職員にご相談してみてください。ネット通販なども利用しているので幅広く個別に用意ができます。

D様：大規模災害時などはどうなってしまうのか？

戸村：各ホームや法人本体に食料品などは、数日間分は備蓄しています。横浜市からもこの日数分は用意してくださいと指針もあります。利用者対応については、ホームでの対応になるのか、法人本体に避難するのかは状況にも寄りますが、近隣の職員を中心にできる限りの支援体制を整える予定です。基本的には普段住み慣れているホームで過ごすにはどうすれば良いか、という視点でBCPなど作成しています。今回の会議に近隣の方をお呼びしたのはここにホームがあり、ホームにはこういった利用者が住んでいる、という事を知ってもらう意味もあります。

C様：本会議に、自身の近所の人を誘っても良いですか？

戸村：是非お誘いお願いします。本会議や見学などを通して、法人や事業所の取り組みを知っていただき、地域の方と良好な関係性を構築していきたいと思っています。

※上記の他、個人情報が含まれる内容については割愛。

以上